**令和7年度静岡大学「技術報告」投稿規定**

1. **原稿のページ設定**
* A4サイズの縦置き・横書きとすること。
* 1ページあたり41行、1行あたり全角43文字とすること。
* 余白は上下左右20mmとすること。
1. **原稿の構成順と書式**

原稿の構成は、「タイトル」、「著者名」、「所属機関」、「本文」、「謝辞」及び「引用文献」とし、この順番で作成すること。但し、「謝辞」及び「引用文献」については記載すること事柄がなければ省略可とする。「タイトル」、「著者名」、「所属機関」、「本文」、「謝辞」及び「引用文献」の書式は次の通りである。

1. **タイトル**
* ゴシック体、16pt、中央揃えとすること。
* タイトルと次の著者名との間は1行空けること。
1. **著者名**
* 明朝体（英数字はローマン体）、11pt、中央揃えとすること。
* 著者が複数の場合は「・」で区切ること。
* 著者が異なる所属機関に属する場合は、各著者名の右上に、1から順番に所属機関ごとに割り当てた数字を付すこと。
1. **所属機関**
* 明朝体（英数字はローマン体）、11pt、中央揃えとすること。
* 所属機関が複数ある場合は「・」で区切り、割り当てられた数字を所属機関名の左上に付すこと。
* 所属機関と次の本文との間は1行空けること。
1. **本文**
* 明朝体（英数字はローマン体）、11pt、両端揃えとすること。
* 句読点は全角の「、」「。」を使用し、行の先頭には置かないこと。
* 英数字は半角とすること。
* 単位記号、虚数単位、演算単位（log、sin、exp・・・）はローマン体とすること。
* 添字は空白マスの上か下に置き、英単語、数値、記号、添字などは2行にまたがらないようにすること。
* 物理量を表す記号・変数及び生物の学名は*イタリック（斜体文字）*にすること。
* 見出しや図表などの強調したい箇所にはゴシック（太字）を指定すること。
* 本文の構成は報告内容に合わせて「はじめに」、「材料」、「方法」、「結果」、「考察」などの章タイトルを適宜設けること。章を細分する際は節タイトル、さらに節を細分する際は小節タイトルを設け、次のとおりに通し番号を付すこと。
* 章タイトルの前には1.、2.、3.・・・の順に半角で番号を付すこと。
* 節タイトルをつける場合は2.1、2.2、2.3・・・等の順に半角で番号を付すこと。
* 小節タイトルをつける場合は2.1.1、2.1.2、2.1.3・・・等の順に半角で番号を付すこと。
* 章と章の間は1行空けること。
* 文献等を引用する場合、引用箇所の右上に通し番号 [1]、[2]、[3]・・・を付し、末尾に著者、雑誌名等を引用順に列記すること。
* 図表は原稿内に挿入し、適宜タイトルをつけ、印刷された際に読みやすいようにすること。
* 報告集は紙媒体のものはモノクロ、電子媒体のものはカラーとなることを踏まえて図表等を作成すること。
1. **謝辞**
* 明朝体（英数字はローマン体）、11pt、両端揃えとすること。
1. **引用文献**
* 明朝体（英数字はローマン体）、11pt、両端揃えとすること。
* 本文中に付した通し番号順にリストアップすること。
1. **原稿の枚数**

投稿原稿は4ページ以上の偶数枚とする（やむを得ない場合は2ページでも可）。但し、研修報告などについては2ページでも可とする。

1. **原稿の投稿方法**

原稿はPDF形式（ファイル容量1Mbyte以内）で保存し、Wordファイルと両方のファイルを技術報告会実行委員会に電子メールの添付ファイルで送付すること。PDFに変換する際には、必ずフォントを埋め込むようにして下さい。特にWordから「名前をつけて保存」でPDFを作成する場合、「Arial」や「Times New Roman」などのシステムフォントが埋め込まれないことがあります。

Word「オプション」→「保存」の「ファイルにフォントを埋め込む」にチェックを入れ、「標準システムフォントは埋め込まない」のチェックをはずしてからPDF作成を試みて下さい。

技術報告会実行委員会：kikaku31@ml.tech.shizuoka.ac.jp

1. **原稿の取り扱い**

投稿原稿は技術報告集として紙媒体で発行される他、「静岡大学学術リポジトリ」に登録され、公開されます。また、以下の著作権の使用許諾をされたものとさせていただきます。不都合のある方は、委員会までご連絡下さい。
　　　・電子媒体への変換及び複製すること
　　　・インターネット上で公開すること